

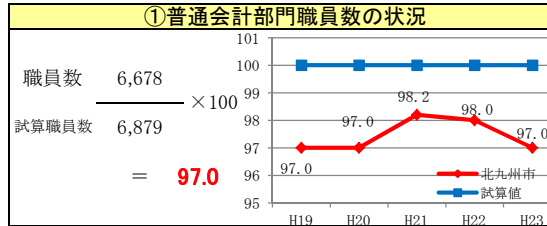
参考指標による職員数等の現状・分析シート

北九州市

<基本データ>

| 団体名 | 北九州市 |
|---------------|---------------------|
| 人口(H23.3.31) | 976,711 人 |
| 面積(H23.10.1) | 489 km ² |
| 全職員数(H23.4.1) | 8,571 人 |
| 普通会計部門 | 6,678 人 |
| 一般行政部門 | 4,834 人 |
| 教育部門 | 841 人 |
| 消防部門 | 1,003 人 |
| 公営企業等会計部門 | 1,893 人 |
| 財力指数(H22) | 0.70 |

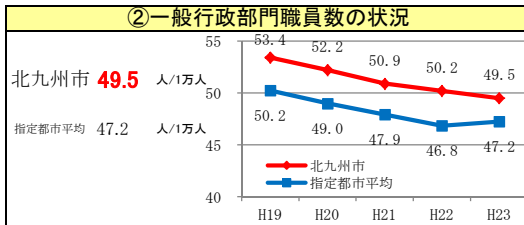
※教育・消防の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。



※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

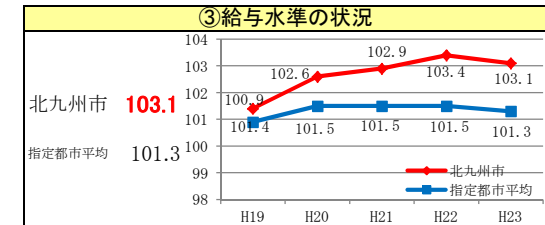
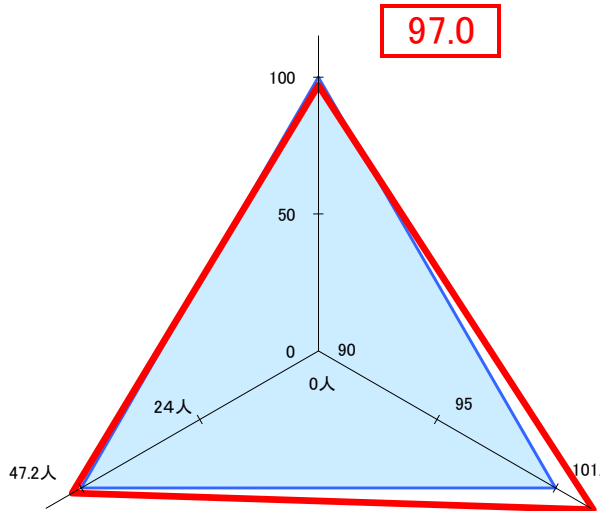
<三角形の見方>
 ・太線(赤)は北九州市の状況を表しています。
 ・細線(青)は指定都市の平均値等表しています。

①普通会計部門職員数の状況



※人口1万人当たりの職員数を示しています。

49.5 人



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

103.1

②一般行政部門職員数の状況

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

【②一般行政部門職員数の状況】

本市では、地方自治法の要請である簡素で効率的な組織体制を確立するとともに、総人件費の抑制により市民サービスに必要な財源を持続的に確保することを目的として、全職員ベースで職員の削減を図り、職員8千人体制の実現を目指している。

職員の削減及び人員配置に関しては、市全体において、行財政改革の進捗等にあわせ、全体の業務量を見極めながら、「削るところは削り、強めるところは強める」といった観点から、きめ細かな対応を行っているところである。

よって、普通会計部門、一般会計部門といった部門ごとに職員数の削減を行っていないが、市民サービスの維持向上に配慮しながら、引き続き、全職員ベースで、きめ細かな定員管理に努めてまいりたい。

【③給与水準の状況】

平成18年度の給与構造改革における措置状況や採用抑制に伴う職員構成の変動等により、一昨年度までは一時的に、指数が上昇傾向にあったものと考えている。

職員の給与水準は、毎年、人事委員会勧告に基づき市内民間企業の給与水準との均衡を図っている。今後も人事委員会勧告を尊重することを基本とし、引き続き給与水準の適正化に努める。

【④その他】